

製品名: SETD7 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82270**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	40.7kDa

抗原情報

遺伝子名	SETD7
別名	KMT7; SET7; SET9; SET7/9
遺伝子 ID	80854.0
SwissProt ID	Q8WTS6
免疫原	大腸菌で発現したヒト SETD7 (AA: 107-366) の精製された組み換え断片。

背景

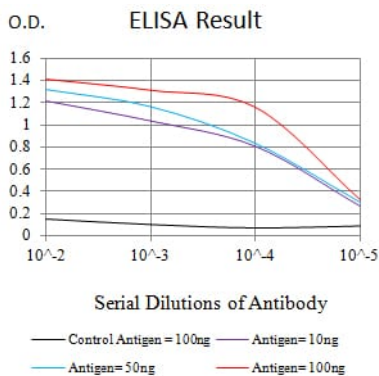
ヒストン H3 の Lys-4 を特異的にモノメチル化するヒストンメチルトランスフェラーゼ。H3 Lys-4 のメチル化は、エピジェネティックな転写活性化の特異的タグとなる。コラーゲナーゼやインスリンなどの遺伝子の転写活性化において中心的な役割を果た

す。IPF1/PDX-1 によってインスリンプロモーターにリクルートされ、転写を活性化する。また、基質タンパク質中の[KR]-[STA]-Kを認識して結合することにより、p53/TP53、TAF10、そしておそらく TAF7 などの非ヒストンタンパク質に対するメチルトランスフェラーゼ活性も有する。TAF10 の Lys-189 をモノメチル化し、RNA ポリメラーゼ II に対する TAF10 の親和性を高める。p53/TP53 の Lys-372 をモノメチル化し、p53/TP53 を安定化し、p53/TP53 を介した転写活性化を増加させる。

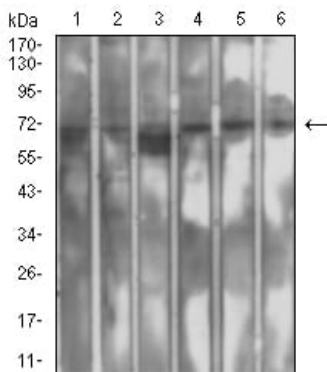
研究分野

-

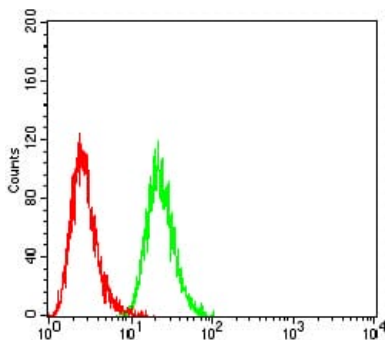
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



MCF-7 (1)、Hela (2)、A549 (3)、COS7 (4)、Jurkat (5)、および PC-12 (6) 細胞溶解物に対する SETD7 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



SETD7 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。